



NPO 法人  
**新エネルギーを  
すすめる宝塚の会**

No.15

2016年1月29日発行  
理事長：中川慶子  
〒665-0875  
宝塚市中筋山手 3-2-10  
(TEL/FAX0797-88-1381)  
<http://rept.or.jp>

農業と環境をつなぐ学習会

## ソーラーシェアリングってなあに？

日時：2月21日(日) 13:30~16:00

場所：兵庫県学校厚生会館 3階 大会議室

講師：東 光弘さん

(市民エネルギー千葉合同会社 代表社員/アースデイちば 実行委員会代表/ちばレボ 協同代表)

関西初のソーラーシェアリング学習会を開催します。農地にソーラーパネルを設置、その下で農産物を収穫します。発電エネルギーは固定価格買取制度(FIT)を活用、収益が生産者を支えます。今回は千葉県でこの活動を普及・実践されている東光弘さんをお迎えし、環境と農業についてお話しいたします。

また、電力自由化の日がいよいよ近づいています。後半は、東さん/REPT/生活協同組合コープ自然派の三者でエネルギーのこれからを考えるパネルディスカッションを予定。情報が錯綜する中、何をどう選んでいけばいいのでしょうか？料金や見せかけのサービスに惑わされないよう、「選べる権利と責任」について考えたいと思います。

参加費：200円(お茶+お菓子付き)

会場：兵庫県学校厚生会館 3階大会議室

共催：NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会  
コープ自然派兵庫(ビジョン食・農業チーム)

お申込：REPTのHPお問い合わせ欄からお願いします。  
<http://rept.or.jp> (当日参加もOKです)



この学習会は独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を一部受けて開催します

# 再生可能エネルギー社会をめざして

11月7日 REPT学習会より



宝塚市近郊でも地産地消の再生可能エネルギーに取り組む気配を感じるようになりました。そのような時に「自然エネルギー市民の会」代表 和田武氏を講師に学習会を持てたのは大変有意義なことでした。

和田氏は脱原発及び地球温暖化防止に通じる再生可能エネルギーの発展を主張し続けてこられた研究者、活動家であり、「日本環境学会」の前会長です。

地球温暖化と原発による危機的な未来を回避するには再生可能エネルギーの飛躍的普及が不可欠です。このままCO<sub>2</sub>の排出を続けると、21世紀末に平均気温が0.3~5℃弱、海面が26cm~82cmも上昇し、その影響は食糧問題、水陸両方の生態系に及びます。何よりも温室効果ガス排出量の大幅な削減が急務であり、低炭素電源の割合の拡大、つまり再生可能エネルギーの急速な増加と市民の省エネが重要だと和田先生は強く主張されました。また、原子力発電のリスクを回避するためにも、再生可能エネルギーの飛躍的普及が不可欠なのです。

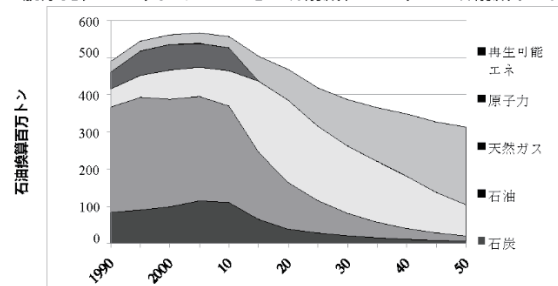


再生可能エネルギーの世界的に普及しているものとして、太陽光発電、風力（陸上・洋上）、地熱、バイオマス、水力等があげられます。世界における再生可能エネルギーの急激な普及は固定価格買い取り制度などの国家的な政策によるものであることを説明され、ドイツやデンマークなど再生可能エネルギー先進地での調査の結果をスライドで次々に紹介されました。

原発と地球温暖化という今日のエネルギー問題における2つの大きな課題の解決には、市民・地域社会の働きが大きく関わり、それなしには実現できません。地球環境も、エネルギー問題も地域社会でのあなた自身の暮らし方の問題ですと、私達の背中を押されたように思いました。

ところで再生可能エネルギーの日本の現状はどうなのでしょう。世界の先進国に比べて非常に遅れており、また原子力から自然エネルギーへの転換も非常に遅れているという事実をグラフによって解説されました。中でも先進的なドイツ、デンマーク等のデータ、電力会社の紹介等は興味深いものでした。デンマークは2050年に再生可能エネルギー100%をめざしていますし、ドイツは再生可能エネルギーの普及によって雇用を増やしているのです。

脱原発、2020年までにCO2を27%削減、2050年に80%削減するシナリオ



不可逆的環境破壊防止のための日本のエネルギーシナリオ  
21世紀には再生可能エネルギー中心のエネルギー利用構造へ転換が不可欠  
和田武 『環境展望 Vol.4 2005』 「温暖化防止のための日本のエネルギーシナリオ」 『環境展望 1999-2000 1999所収の修正版

電力会社を選べる制度が本年4月からスタートします。私たちには電力会社を選べるという自由が与えられますが、“やはり核燃料に頼るのですか、それとも自然からの再生可能の電力を選ぶのですか”との問い掛けに答えなくてはならなくなりました。 (むらかみ)

## 中古パネルを使った「特定供給」～新しい宝塚すみれ発電所の誕生です～

昨年の秋の初めに、太陽光発電パネルの無償譲渡のお話を「NPO 法人新エネルギーをすすめる宝塚の会」にいただきました。市民共同発電所のパイオニア、故井口正俊さん（後継者は井口富子さん）が展開されてきた発電所のうちの一部が、工場の移転により搭載していたパネルを取り外すことになり、移設先を探しておられたのです。中古とはいえ現役のパネルの廃棄はもったいない、しかしすぐに移設できることが条件ということでした。そこで、私が加入する共同購入を通して付き合いのある丹波乳業に打診したところ、ぜひ載せてほしいということで設置が決まりました。

ただ、今回の設置は一般的に言う「屋根貸し事業」ではありません。

設備をつけるのは（株）宝塚すみれ発電で、そこで発電した電気を丹波乳業が自家消費します。消費した分をメーターで読み取り、電気料金としてkW/円に換算し、支払ってもらいます。電線に載せない

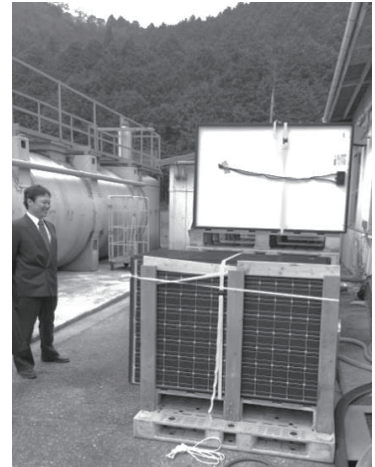
電気のやり取り、これを「特定供給」と言います。固定価格買取制度（FIT）を使わないのが今回の特徴です。中古パネルを使い電気の特定供給を行なう、これはとても珍しく注目されています。

太陽光発電による再生エネルギーの電気を取り入れ、化石燃料で作られた電気の利用を少なくする。クリーンなイメージで牛乳のブランドカアップに役立つ。何より、設備自体のお金を出さずにこれらが可能になるので、丹波乳業にとっても悪い話ではありません。宝塚すみれ発電も、「特定供給」という新しい分野への挑戦となります。現在、この仕組みを知ってもらい、設備費用の一部をご支援いただくということで、ネットを使った新しい寄付の形、クラウドファンディングに挑戦しています。ご支援ください。

「ソーラー発電でみんなの氷上低温殺菌牛乳の未来を創ろう！」

<https://readyfor.jp/projects/minpasu-solar>

今後出てくる廃棄パネルの方向性を考える上でも、大きな展開になると考えています。（井上）



## 宝塚防災&ウォークで《エネルギーカフェ》

1月17日宝塚末広中央公園で開催された防災イベントに《エネカフェ》ブース参加しました。太陽光パネルやソーラーランタンの展示販売、一斗缶の手作りロケットストーブ、薪割りインストラクターによる薪割り講習などなど、災害時にも役立つ再生可能エネルギーの紹介に、たくさんの方が関心を示してくださいました。おなじみシャボン玉自転車発電は子ども達に大人気でした。

薪ストーブで調理した〈すみれぼたん鍋〉もおいしかったです。ジビエも自然の恵みですね。

ブースに来られた市の防災課の職員さんに、ソーラー防災グッズの避難所への配備を提案しました。起こってほしくない災害ですが、備えは万全に。



（たなか）（REPTの薪割りガールズ？ 次の日カラダのあちこちが…）



## 電力の自由化 じっくり検討して安全な電気を選びましょう！

今まで 10 電力会社が地域独占していましたが、今年の 4 月から電力の小売りが全面自由化されて、一般家庭も電気を選べる時代になりました。電力会社はお得感をあおるメニューを次々に流して顧客獲得にしのぎを削っています。新しく参入する会社は、現電力会社系、LP・都市ガス系、石油系、再エネ系、通信系、商社、製紙会社、電機メーカーなど多種多様で、約 8 兆円の市場が開放されることになるそうです。

1 月 18 日現在、資源エネルギー庁が発表した今回登録済の小売電気事業者は、なんと 130 社。販売地域が“近畿”で、“一般家庭への販売あり”となっていれば私たちに電力を供給できるわけです。

「契約した会社がつぶれたら停電するの？」と心配する向きもありますが、安定供給の義務と引き換えに既存の電力会社に送配電網の独占が認められています。市民は契約を変更してメーターを取り換えるだけで、あとは今まで通り。価格については 2020 年まで価格規制を維持するとされていますが、それ以後はどうなることか……。今回の自由化のメリット・デメリットはいろいろありますが、今私たちのすべきことはよりよい未来をつくるための“賢い選択”です。

ところが、選ぶとなるとこれは一苦勞。たとえばソフトバンク電気は FIT（再生可能エネルギー）電気も準備しているといいますが、東京電力とタッグを組んでいるので近づきたくありません。ちなみに関西電力は KDDI（au）と業務提携しています。

私たちは電気の原材料表示を義務化することを要求してきましたが、政府は原発ありきの故に義務化しませんでした。義務化は欧州では当たり前のことで、消費者にとっても再エネの増進にとっても大いに必要なことなのに……。

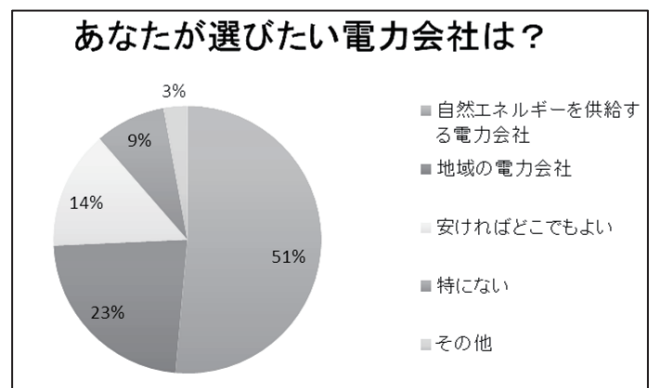
コマーシャルを見ていると選ぶ基準はお得かどうかしかなさそうで本当に情けなくなります。けれど 1 月 17 日に宝塚の末広公園で行われた「防災&ウォークイベント」に参加したエネルギーカフェでとったアンケート結果を見ると、まんざらでもないところがあります。「あなたが選びたい電力会社は？」との問いに半数の方たちが「自然エネルギーを供給する電力会社」と答えてくれたのです。30 人という少人数ではありましたが、イベントに集まった普通の人の意識は捨てたものじゃありませんね。

REPT も賛同している「パワーシフト・キャンペーン」では、新電力を選ぶ基準として次の 5 点を重視しています。

1. 電源構成や環境負荷などの情報を一般消費者に開示していること
2. 再生可能エネルギーの発電設備（FIT を含む）からの調達を中心とすること
3. 原子力発電所や石炭火力発電所からの調達はしないこと（常時バックアップ分 は除く）
4. 地域や市民による再生可能エネルギー発電設備を重視していること
5. 大手電力会社と資本関係がないこと

落ち着きましょう。切り替えはいつでもできます。慌てないで、情報が出そろってから上の条件を満たす新電力を選びましょう。

大事なものは節電、そして極力放射能や CO<sub>2</sub> を出さない電気を選んで社会を変えていくことです。（なかがわ）



## 美浜町の「森と暮らすどんぐり倶楽部」松下照幸さんからのメッセージ

以前の学習会で、ドイツの再生可能エネルギー利用の具体例をお話くださった福井県美浜町の松下さんが、ソーラーシェアリング学習会の案内を出したMLに、応援のメッセージと、脱原発のまちづくり＝仕事づくりに奮闘する倶楽部の“今”を書いてくださいました。了解を得て転載します。

~~~~~

進化していますね。皆さんの活躍を期待しています。

いよいよ美浜町は、【脱原発】です。好むと好まざるとにかかわらず、【脱原発】です。普通に考えれば、3号機の再稼働はないとみています。ただ、高浜原発の仮処分判断を見ると、何でもありですので、再稼働の可能性はゼロではありませんね。

トップは相変わらずですが、役場職員達の危機感も、少しずつわき出てきた面も見られます。一昨年、東京の【四十八漁場】(飲食店チェーン)と美浜町の物産が結びつき、魚を中心に、当倶楽部の商品も16店舗に出荷しています。キノコや山菜です。東京日本橋には、【熟成漁場 福井県美浜店】を、飲食店チェーンのビジネスモデルと連携して出店しました。昨年6月末にオープンし、秋には経営ベースに乗ったことが報告されています。そのお店には、当倶楽部のキノコや山菜、木の実のジュースを昨年より出荷しています。ふるさと納税のお礼品にも、当倶楽部の木の実のシロップを、【森からの贈り物 木の実のシロップ 5本セット】として使ってくれ、想定以上の売上がありました。まだわずかな額の話ですが、前向きな内容ですよ。農水課の職員達の動きを評価しています。

「美浜町の嫌われ者」であった私に関する見方が、少しずつ変わってきていることを感じています。

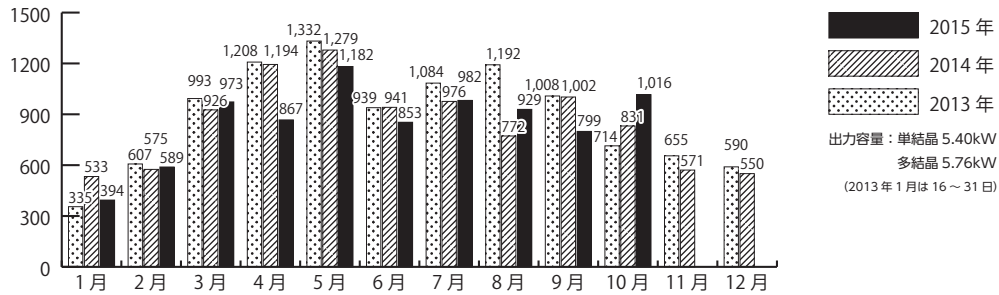
私が主張し続けている木質バイオマスと太陽熱とのハイブリッドシステムですが、広島の水温器メーカーの若い経営者が昨年9月に当倶楽部を訪ねてくれ、「松下さんの企画は、もう見積もりまで出来ますよ」と言ってくれました。「導入想定地域の条件設定、土木費見積もりをどんぐり倶楽部さんで担当していただければ、当社でシステムの見積もりをします」と言うことになりました。2月上旬に広島へ出かけ、見積もりのため打ち合わせを行うことになっています。

動きましたね。メーカーとの10年近い交流が実を結びました。見積もりの「結果次第」では、営業に入れます。後は、日本の土木掘削条件が厳しいので、高コストになります。自治体側が条件緩和できれば、一気に全国で普及するでしょう。林業、土建、建築、設備産業が、地域でよみがえるのですから。

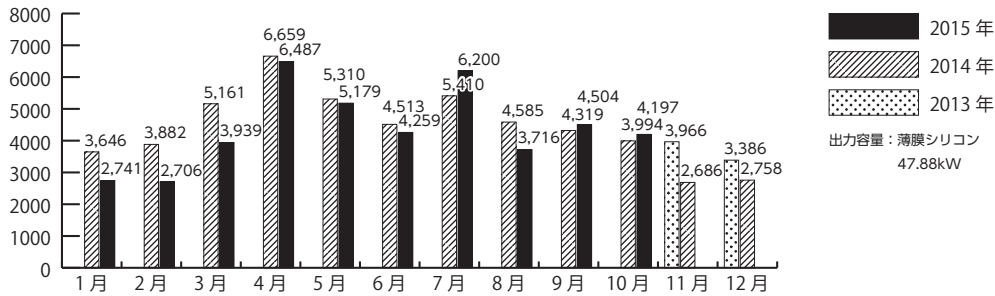
関電幹部であった高校のクラスメートが退職し、昨年より、私が代表を務める「新庄山菜花木生産組合」に夫婦で参加しています。相手側から「お前と一緒にやりたい」との申し出があり、「夫婦で参加するのだったら了解する」という条件を出して、来てもらっています。おもしろいですね。私を取り巻く風景が、動いています。

しかし、トップとは疎遠ですので、地域ミニ熱供給システムは、美浜町ではなかなか進みそうにありませんが、全国を対象に【成功事例】を求めています。中川さん達のように、先進的な活動を作ることは出来ませんが、目標を定めて、亀の歩みで、ゆっくりと進んでいます。皆さんの活動に勇気をもらっています。

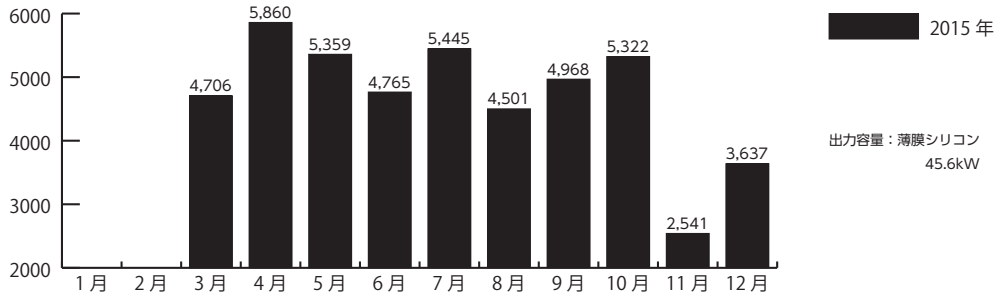
宝塚すみれ発電所 第1号 発電実績



宝塚すみれ発電所 第2号 発電実績



宝塚すみれ発電所 第3号 発電実績



## お知らせ

☆家庭向け電力自由化でどう変わる－仕組みは？料金は？サービスは？手続きは？－  
再エネや原発はどうなる？

2/2 (火) 13:30～16:00

エル大阪南館 1023 (京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅より西へ300m)

情報提供 大阪消団連事務局

学習講演 高橋洋さん (都留文科大学社会科学部教授・公益財団法人自然エネルギー財団特任研究員) 主催：大阪消団連

☆地球温暖化への「適応」について考えるワークショップ

2/16 (火) 9:30～12:00 宝塚市役所 3階大会議室 50名

白井信夫さん (法政大学教授) 主催：宝塚市地域エネルギー課

☆農業と環境をつなぐ学習会 ソーラーシェアリングってなあに？ (表記)

2/21 (日) 13:30～16:00

兵庫県学校厚生会館 3階大会議室